

太良から、役場をなくしてはいけない！

太郎 いよいよ、明日が住民投票の日になった。「太良から役場をなくすな。太良町を残そう」という声が大きくなってきたね。

町長がいてこそ、町役場

支所をおいても、役場のかわりにはならない

良夫 鹿島市太良町合併協議会のピラには、合併したら役場がなくなるという主張は誤りですと書いてあったよ。

太郎 合併したら、太良町役場はなくなって鹿島市役所になる。太良町議会がなくなって鹿島市議会になる。太良のことを太良では決めることができなくなる。市議会の定数は26名だが、人口の割合から行くと太良から出る議員は6~7名程度になる。鹿島が絶対多数になる。

良夫 市長も鹿島だろうね。何事も鹿島中心になるのははっきりしているね。

太郎 何事も鹿島中心になって、太良の声が届かなくなることを太良町民は心配しているんだ。ところが、合併協議会のピラは、支所と町長がいる町役場をごっちゃにしている。遠隔地に支所をおいて住民の利便をはかるのは当然だ。しかし、役場のかわりにはできない。

良夫 総合支所をおくというけど、もともと財政難だからといって合併するんだろう。職員数を20%削減することになっている。大規模な総合支所を置けるはずがないね。総合支所に職員は何人配置されるか、とうとう明らかにされずじまいだ。

「財政難です。できません」と言えばそれまで...

合併協議の結果が守られる保証はない

良夫 太良町民は、合併協議会が「合併しても太良の水道料は上げない」とか「総合支所をおく」と決めただけで、合併後ずっと続けられる保証はあるのかと心配しているね。

太郎 説明会ではそのことがいつも問題になった。役場の課長さんたちは、「保証できます」と言えなかったね。百武町長は「合併後のことは、合併後の執行部が決める」と言っていた。

良夫 合併協議会のピラには、合併後新市の総合計画を策定するときには、合併特例法で任期がのびた現在の両市町の議員が審議すると書いている。それで、保証になるかね。

太郎 任期の延長は1年2ヶ月だ。その後は、選挙で新しい議員が選ばれる。

良夫 その後が問題だね。「財政難です。とても合併協定の通りやっていきません」となったら、

何でもひっくり返せるね。

太郎 これまでに合併した市で、数年後には最初の約束がひっくり返っている例があちこちであるよ。要するに、合併を進めるための方便だ。

良夫 太良地区に地域審議会を設けるから住民の意見は反映されるとも書いているよ。

太郎 審議会と言うのは、決定権も財政権もない単なる諮問機関だ。何の権限もない。

良夫 やっぱり保証はないね。合併協議会のバラ色の宣伝にだまされてはいけないね。

マスコミも注目。みなさんの力で、
合併反対に をつける人を増やして下さい

太良の住民投票はマスコミも注目しています。「合併しないでやっていくぞ」という太良町民の意志をはっきり示しましょう。住民投票に必ず勝ちましょう。みなさんのお力で、合併反対に をつける人を増やしてください。

合併前から太良の声無視の見本—住民投票前の調印式

良夫 太良では、住民投票の結果で合併するかどうか決めることになっている。その前に、合併協定の調印式をしたことに「順序が逆でないか」とみんな怒っているよ。区長さんの中には、「こんなものに出れるか」と調印式に欠席した人が沢山いると聞いたよ。

太郎 調印式をやったことを大々的に宣伝して、太良町民に「もう合併は決まってしまった」と思いこませようとした。こんな汚いやり方は、絶対に許せない。

良夫 合併する前から太良の声は無視されているんだね。合併したら、どんなことになるかわからない。先が思いやられる。だから、合併に反対だという人も多いよ。

合併反対・太良町を残そう

No.28 2004.6.12

発行 合併反対・太良町を残す町民協議会

連絡先 北町 川上賢二 Tel 67-9072

ホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ken-1941>

合併協議会が反論できない「鹿島のための合併」

良夫 「鹿島市・太良町合併協議会」のビラが新聞に折り込んであったね。鹿島市・太良町合併協議会と言えば、鹿島の桑原市長が会長だろう。なぜ、太良町民の合併論議に割りこんでくるのだろう。

下水道と中木庭ダム負担の重荷、合併特例債ほしさの合併

太郎 太良が合併するかどうかが決めるのは太良町民だ。太良町民の自主性を尊重すべきだ。
良夫 なんとしても合併に持ち込まねばという鹿島の焦りがありだね。こんなところに、「対等合併」でなく、実際には鹿島による太良の吸収合併という本音が出ていると思う。
太郎 合併協議会のビラには私たちのビラに対する反論がのっているけど、鹿島の泣き所には全然ふれていない。鹿島の下水道事業が向こう 10 年間で、年平均 7 億円も一般会計から繰り入れ、3 億 6000 万円も借金する計画になっているというように鹿島の財政に大変な重荷になっていることだ。それに、中木庭ダム建設の負担金の重荷のことにもふれていない。
良夫 借金のツケで、鹿島の財政はピンチになり、警戒ラインを超えていた。合併特例債ほしさの太良との合併話しということも全然反論がないね。やっぱり鹿島のための合併なんだね。

合併しなくてもやっていけることを、自ら認めている「財政試算」

良夫 合併協議会のビラは、「合併しなかった場合の財政試算」は合併しなくてもやっていけることを認めたものではないと言っているよ。
太郎 これを作ったのは、「合併しなかったらあれも上がる、これもあがる。だから合併しなかったらダメだ」と町民に思わせるのがねらいだと自分で白状している。こういうのを脅しというんだね。この試算は、さも決まったものであるかのように発表しているという点で問題がある。どこを削るかはもっと議論しなければならない点もある。しかし、この試算を作ったねらいは別として、人件費や経費を削れば、役場が残せるということを示している。それを示すのが次の表だ。

	鹿島市	太良町	合計	数字の根拠
合併した場合の施策可能経費			310億円	合併協議会の財政シミュレーション
合併しなかった場合の施策可能経費	219億円	81億円	300億円	鹿島市、太良町の「財政試算」

良夫 いろんな事業費にあてることができる太良の施策可能経費が向こう 20 年間で 81 億円になると言うことだね。鹿島市が合併しなかった場合の施策可能経費と合わせると 300 億円になる。これは、合併した場合の施策可能経費 310 億円とほぼ同じだ。だから、20 年間のトータルとしては、合併してもしなくても同じだということだね。

鹿島には「鹿島市中心市街地活性化基本計画」がある

太郎 合併協議会のビラは、鹿島には「鹿島市中心市街地活性化計画」があるというのを隠している。これまで、スカイロードやさくら通りの整備を進めてきたが、鹿島駅前広場整備や周辺整備がこの後の計画として残されている。「新市まちづくり計画」に「駅前広場整備事業」とか「さくら通り商業基盤整備事業」としてあげてあるのがそれだ。

良夫 事業費についてはどうだろう
太郎 10 年間の建設事業費と最初の 10 年間の施策可能経費をくらべてみたのが次の表だ。合併した場合 10 年間の建設事業費は 355 億円だ。これに対して、合併した場合の最初の 10 年間の施策可能経費は 223 億円だ。建設事業費の 62.8%にしかない。残りはおそらく下水道や病院など特別会計の分だと思われる
良夫 合併しなかった場合はどうなるかね。
太郎 太良町が合併しない場合の最初の 10 年間の施策可能経費の合計額は 60 億円だが、これは 10 年間の建設事業費 90 億円にたいして 66.7%になる。合併した場合の割合の 62.8%よりも多い。90 億円の建設事業費の特別会計と普通会計の割合が合併協議会の資料ではわからないが、合併した場合と同じ程度だとすると、普通会計 60 億円の施策可能経費で必要な建設事業費はほぼまかなえるのではないかと思われる。

	10年間の建設事業費(特別会計を含む)	最初の10年間の施策可能経費(普通会計)	建設事業費に対する施策可能経費の割合
合併した場合	355億円	223億円	63.7%
鹿島市単独	265億円	119億円	44.9%
太良町単独	90億円	60億円	66.7%

中木庭ダム建設費の負担は太良町民にかかってくる

良夫 合併協議会のビラは、合併しても太良の水道料金は上がらないと言っているけどどうかね。
太郎 合併協定では鹿島と太良の上水道会計は統合することになっている。これは、将来統一料金になる可能性を残しているということだ。現に、茨城県の潮来市は、合併時は旧町ごとの別料金体型だったが、4 年後に同じ料金にしたということだ。合併協議会のビラは、中木庭ダムから水を引く必要はないと言っているが、ダム建設の負担金については知らん顔だ。毎年、ダムの建設費の 8.7%を鹿島市が負担することになっている。14 年度は 1 億 4833 万円、15 年度は 3 億 0150 万円だった。鹿島の負担金の半分は国が補助しているが、水を引かなければ補助金返還という問題も出てくる。
良夫 結局、太良町民も中木庭ダムの建設費の一部を負担しなければならなくなるということだね。